

令和元年度

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

子どもたちの豊かな心を育むため平成14年度より実施している本事業は18年目を迎えました。今年度は「～伝えたい 思い届ける 十七字～」のキャッチフレーズの下、「絆部門」「復興部門」の二部門で作品を募集しました。県中域内の応募点数は過去最多となる10,401組で、昨年度に引き続き一万組を超えました。御協力をいただきました市町村及び市町村教育委員会、幼・保、こども園、小・中・義務教育学校、県立各学校、公民館、そして審査に御協力いただきました福島県公立学校退職校長会の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、9月24日に行われた県中域内第一次審査では、福島県公立学校退職校長会県中域内各支部より25名の皆様に審査員としておいでいただきました。厳正な審査の結果、10,401組より526組の優良作品を選考し、県の第二次審査へ送ることができました。県の第二次審査を経て、県中域内からは23組の優秀な作品が最終審査へと選出されました。11月8日の最終審査の結果、県中域内から最優秀賞に2組（絆2組）、優秀賞に1組（絆1組）、佳作に5組（絆3組・復興2組）が入賞を果たしました。

寄せられた作品には、家族や身近な人たちとのふれあいや共有体験を通した思いや気持ち、復興への願いなどが五、七、五の十七文字にこめられていました。また、出品者からは「バタバタと過ぎる夏休みに、じっくり親子の関係を見つめ直す良い時間を頂いております。」「こんな風に子どもと考えたり話し合ったりする機会がなかなかなかったのでとてもいい機会になりました。」「お互いの思いを伝える、考えることができる素晴らしい事業だと思います。」など、温かく貴重な御意見・御感想を多数お寄せいただきました。

県中教育事務所では、入賞作品や第一次審査通過作品を多くの方々に見ていただきたく、作品集を発刊することにしました。この作品集を御覧いただき、子どもたちの瑞々しい感性や子どもたちを見守る身近な人々の思いや願い、家庭や地域の絆を感じ取ってもらえることを願っております。

令和2年2月

福島県教育庁県中教育事務所長 石幡 良子

県中域内表彰伝達式



郡山市立永盛小学校（佳作）



浅川町立浅川小学校（佳作）



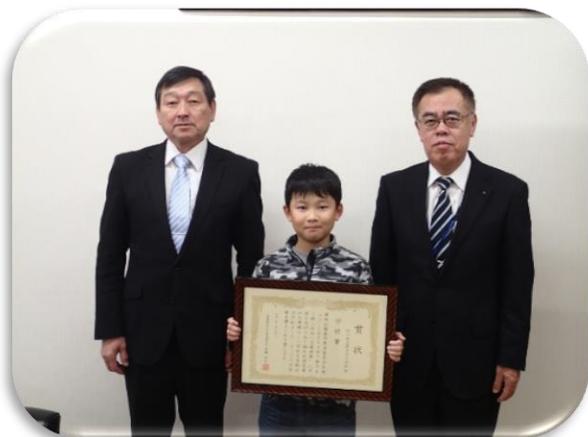
石川町立沢田小学校（学校賞）



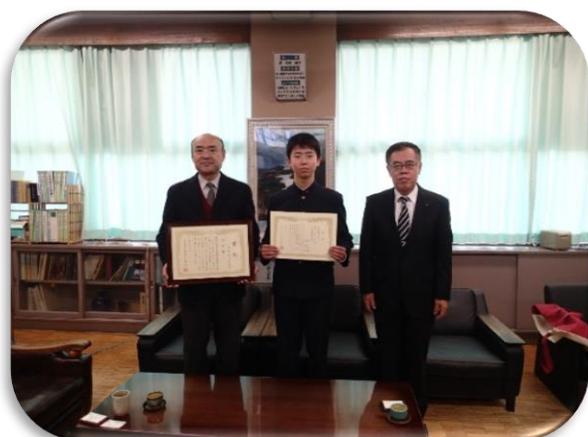
郡山市立郡山第一中学校（佳作・学校賞）



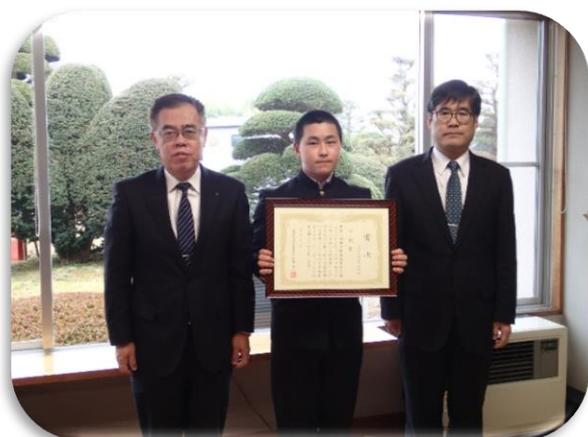
郡山市立金透小学校（佳作）



石川町立野木沢小学校（学校賞）



浅川町立浅川中学校（学校賞）



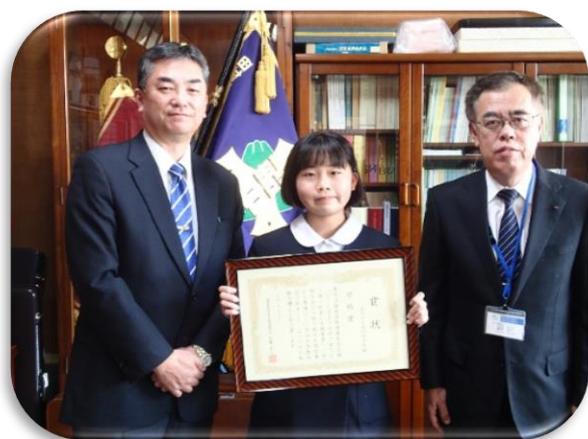
玉川村立須釜中学校（学校賞）



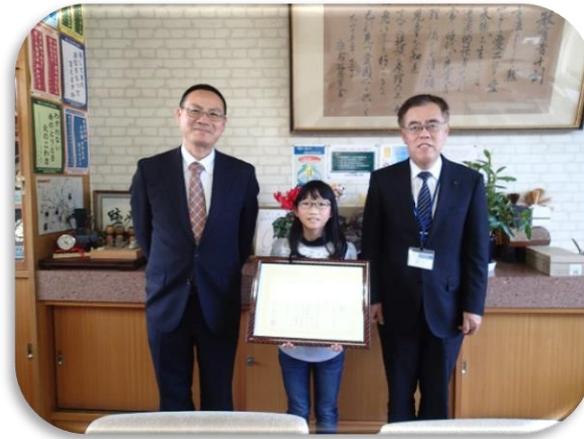
平田村立小平小学校（学校賞）



須賀川市立柏城小学校（学校賞）



田村市立船引中学校（学校賞）



田村市立常葉小学校（学校賞）



郡山市立安積第二小学校（佳作）

県の表彰式は12月14日（土）にホテル福島グリーンパレスにて行われました。県中地区からは最優秀賞2組（紳部門）優秀賞1組（紳部門）が表彰されました。県の表彰式の様子は、福島県教育委員会ホームページに紹介されていますので、こちらからご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/365113.pdf>